

平成 25 年版

子育て文化創造白書

山 口 県

子育て文化創造白書の刊行に当たって

近年、ライフスタイルの変化により、少子化の進行や核家族化、地域のつながりの希薄化など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、大きく変化しています。これに伴い、子育てに不安や孤立感を覚える家庭も少なくないとされており、地域を挙げて、子ども・子育て家庭への支援を強化する必要があります。



このため、本県では、「子育て文化創造条例」及び「やまぐち子どもきららプラン21」に基づき、家庭、学校、職場、地域などの社会資源を総動員し、社会全体で結婚、出産、子育てを支える気運の醸成や、子育て家庭への支援の充実などに取り組んできたところです。

また、国においては、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する新たな子育て支援制度の構築や、待機児童解消に向けた取組の加速化など、子ども・子育て支援の充実が進められています。

私は、「子育て環境日本一」の県づくりを実現するため、各ライフステージに応じた子育て支援・少子化対策を着実に進め、県民の皆様に「山口県で子どもを生み、育てて本当に良かった」と心から実感していただくとともに、次代を担う子どもたちが夢と希望を持ちながら、健やかに育つ地域社会づくりを推進していきたいと考えております。

この白書は、「子育て文化創造条例」に基づく年次報告であり、本県における子どもと家庭を取り巻く現状や平成24年度に県が取り組んだ施策、平成25年度に取り組もうとする施策などを取りまとめています。

本書を通じて、より多くの県民の皆様に、本県の子育て支援・少子化対策について、理解と関心を深めていただき、安心して子どもを生み育てることができる社会の実現に向けた取組の一助となれば幸いです。

平成25年10月

山口県知事 山本繁太郎